

テーマ	地域協議会と県協議会との連携による耕作放棄地の再生・利用		
実施年度	平成24年度	解消面積	45a
取組主体	平戸市担い手育成総合支援協議会	活用事業等	緊急対策交付金、県単事業
発生要因、経緯	<ul style="list-style-type: none"> 平戸市は九州の北西部に位置し、本土の田平町と周辺の島々から成る農水産業を基幹とした市である。中山間地帯であり狭小地が多く、基盤整備が進んでいないこともあり、高齢化、担い手不足、獣害被害を背景に条件不利地から耕作放棄地が増加している。 平戸市担い手育成総合支援協議会では耕作放棄地解消5ヶ年計画を策定、5年間で200haの解消目標を掲げており、意向調査による農地リスト・意向者リストの作成、航空写真を活用した農地探し相談会の開催等により、耕作放棄地の活用と農地流動化に向けた利用者と農地マッチングに努めている。 平成24年、たまねぎ生産を志す新規就農希望者が新規就農相談会に参加。平戸市担い手育成総合支援協議会は、新規就農者の負担軽減のため、長崎県担い手育成総合支援協議会と農地保有合理化事業の活用による耕作放棄地の再生と当該地の利用について調整を行うこととした。 		
取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> 農地保有合理化法人は耕作放棄地の再生に当たって耕作放棄地再生利用緊急対策交付金を活用。 耕作放棄地の再生には基盤整備を実施。事業費の50%を国、35%を長崎県で助成。 		
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> 農地保有合理化法人が耕作放棄地を再生した上で新規就農者に貸し付けたことで、新規就農者の負担が軽減。 耕作放棄地を活用した新規就農は珍しく、緊急対策事業やマッチングなどのモデル的な事例として期待される。 		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> 担い手の拡大意向に対し、出し手の農地情報が不足している状況から、今後、より多くの情報を収集するとともにマッチングを推進、耕作放棄地所有者の意識を改善し、農地の有効利用の啓発することとしている。 不在地主の農地、耕作放棄地が増加しており、周辺農地への被害防除等、対策を講じなければならない。 		
事例写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>耕作放棄地解消前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>耕作放棄地解消工事中</p> </div> </div>		
連絡先	平戸市農林課 TEL 0950-22-4111(代表)		